

優先権主張

出願国 ドイツ国  
出願日 1970年11月14日  
(P.2056/78.8)

②特願昭 46-90037 ⑪特開昭 47-10494

④公開昭47.(1972) 5:26

審査請求 無 (全 9 頁)



特許願

(特許法第38条に基づきの特許出願)  
昭和46年11月12日

特許庁長官 井土武久 殿

1. 発明の名称 <sup>カゼン</sup>改善された加工特性を有するトランス  
<sup>セイクネリウ</sup>ーノ、ノリベンテナマーの製造方法

2. 特許請求の範囲に記載された発明の数 2

3. 発明者

住所(通称) ドイツ国、レーフェルクゼン、ハイドン  
ストラーセ、31  
氏名 ディーテル・メルテンス

4. 特許出願人

住所(通称) ドイツ国レーフェルクゼン(番地無し)

名称(氏名) フアルベンフアブリケン、バイエル、アクチエン  
ゲゼルシャフト

国籍 ドイツ国 代表者 ヨーゼフ・シュトゥックハウゼン

5. 代理人

住所 東京都港区芝西久保明舟町15番地(虎の門電気ビル)  
(電話 03 (502) 1476(代表))

氏名 弁理士(4013) 江崎光好



⑬ 日本国特許庁

⑬ 公開特許公報

庁内整理番号

⑤日本分類

6424 45  
6653 45  
6653 45

260B2  
260A13  
260A272.115

明 細 書

1. 発明の名称 改善された加工特性を有するトランス  
ーノ、ノリベンテナマーの製造方法

2. 特許請求の範囲

(1) 少なくとも1種のタングステン化合物および  
少なくとも1種の有機アルミニウム化合物を含  
む触媒を用いて、炭化水素溶液中に溶解され  
たシクロオレフィンを重合する、トランスボ  
リアルケナマーの製造方法において、塩化水  
素の存在下に塩化水素対タングステンのモル  
比を0.1/1ないし1.0/1として重合を行  
なうことを特徴とする前記製造方法。

(2) 更に共触媒を使用する、特許請求の範囲の  
1項に記載された製造方法。

3. 発明の詳細な説明

シクロブテン、シクロペンテンまたはシクロ  
オクテンのようなシクロオレフィンは、元素周  
期律表のオウB、VBおよびVB族(Handbook  
of Chemistry and Physics, オウ版(1966年)

(1)

B-3頁参照)の金属(Ti, Zr, Hf, V, Nb,  
Ta, Cr, Mo, W)の化合物と、周期律表のオウIa,  
IIaおよびBa族(Handbook of Chemistry and  
Physics, オウ版(1966年)B-3頁参照)の金  
属(Li, K, Na, Rb, Cs, Mg, Ca, Sr, Ba, Ag,  
Au, In)の有機金属化合物との混合有機金属触  
媒を用いて、開環を伴う重合を行なうことに  
より粉状不飽和重合体を生成しうる。この重合  
体の二重結合は、使用する触媒次第で主として  
シス-二重結合であつたり、またはトランス-  
二重結合であつたりする。得られる重合体は、  
公知の加硫系、例えば過酸化合物系またはイオウ  
を含有する系を使用して架橋を行なつて高度に  
弾性の成形製品を得ることができる。

タングステン塩および有機アルミニウム化  
合物に基づく触媒を用いてシクロペンテンを重合  
すると、得られるノリベンテナマーは、  
主としてトランス-二重結合を有する(すなわ  
ち70%以上)。このようにして得られた重合  
体の分子量は、通常非常に大きく、分子量分布

(2)

は狭い。

分子量および分子量分布は、合成ゴムの加工性に大いに影響する。高い分子量と狭い分子量分布を有する加硫可能重合体は、通常の加工装置（ローラー、密閉式混合機）によつては通常容易には加工されない。ゴムの加工特性を記述し比較するためには、種々の剪断応力における生成物の流れまたは固有粘度( $\eta$ )、ムーニー粘度、デフォーメーションおよびデフォーメーション(DIN 53514)の組合せが適当である。未加硫ゴムの最適な加工性に対応するこれらの特性の組合せは種々であり、それぞれの種のエラストマーについて特定されている。

本発明の目的は、広い分子量分布を与えることにより最適な加工性を有するポリアルケナマーを製造することにある。

本発明は、

- (a) タングステン化合物
  - (b) 場合によつては共触媒
  - (c) 有機アルミニウム化合物
- (3)

からなる有機金属混合触媒に、0.1:1.0ないし1.0:1.0の塩化水素対タングステンのモル比に相当する量の塩化水素の存在下に、不活性有機溶媒中のシクロオレフィンの溶液を接触させることを特徴とする、主としてトランス-配置を有するポリアルケナマーの製造方法に関する。

塩化水素対タングステンの好ましいモル比は1:1ないし4:1である。

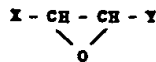
本発明の目的に適したシクロオレフィンとは、特に、5または7ないし10個の炭素原子を有するシクロモノオレフィン、例えばシクロペンタン、シクロヘプタンまたはシクロドデセンである。シクロペンタンが好ましい。

次の組成を有する有機金属混合触媒が、本発明によるシクロオレフィン、特にシクロペンタンの開環重合に特に有利である：

- (a) タングステン塩、好ましくはハロゲン化タングステンまたはオキシハロゲン化タングステン、例えば  $WC_6$ 、 $WC_6H_2$ 、 $WBr_6$ 、 $WC_6O$ 、 $WF_6$ ；
- (4)

(b) 共触媒、例えば

(1) 次の一般式のエポキシド：



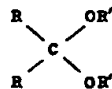
(上式中、

X = H、アルキル、アリールまたはアルキル、および

Y = H、アルキル、アリール、アルキルまたは  $\text{CH}_2-\text{Hal}$  (Hal = F, Cl, Br または I)、および

X および Y は例えばアルキル ( $\text{CH}_3-$ ) および/またはハロゲン (Cl) で置換されている、

(2) 次の一般式のアセタール：



(上式中、

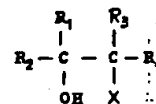
R は水素原子、または場合によつてはハロゲン化された (F, Cl, Br または I)

(5)

アルキル、アリールまたはアルキルアリール基を意味し、

R はハロゲン (F, Cl, Br, I) によつて置換されているともよいアルキルアリール基を意味する、

(3) 次の一般式のヘロアルコール：



(上式中、

X = F, Cl, Br または I、

R<sub>1</sub> および R<sub>2</sub> は同じでも異なるものでもよく、

水素またはアルキル、アリールまたはアルキル基を意味し、

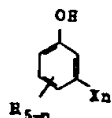
R<sub>3</sub> および R<sub>4</sub> は同じでも異なるものでもよく、

フッ素、塩素、臭素、ヨウ素、水素、アルキル、アリールまたはアルキル基を意味し、そして

R<sub>1</sub> および R<sub>2</sub> はそれらが結合している炭素原子と一緒で、異なるまたはそれ以上の炭素

(6)

環を形成しうる)、または、  
(例) 次の一般式のハロフェノール:



(上式中、

X = フッ素、塩素、臭素またはヨウ素、  
R = 水素、アルキル、アリール、アルキル  
アリールまたは飽和環状脂肪族または  
芳香族環、および

n = 1、2、3、4 または 5)、

ここでこれらの共触媒の例は、エチレンオ  
キシド、プロピレンオキシド、エピクロル  
ヒドリン、2-クロルエタノール、2-ブ  
ロムエタノール、2-フルオルエタノール、  
2-ヨードエタノール、2-クロルシクロ  
ヘキサノール、2-クロルシクロペンタノ  
ール、0-、2-および4-クロルフェノ  
ール、ジ-2-クロルエチルフォルマール

(7)

ル、トリル、ナフテル基であり、アルアルキル  
基はベンジル基であり、ハロゲンハ Cl または  
Br である。

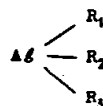
触媒成分は好ましくは、1 : (0.3-1.0) :  
(0.5-1.5) の a : b : c のモル比で使用さ  
れる。

本方法の好ましい実施態様によれば、タング  
ステン塩(a)は、先ず炭化水素溶媒、好ましくは  
重合が行なわれる溶媒と同じ溶媒中の0.05な  
いし0.5モルの溶液において共触媒(b)と反応せ  
しめられ、溶解された反応生成物は触媒成分と  
して使用される。タングステン化合物のずつと  
高濃度の溶液がこの方法で製造でき、ただ2種  
の触媒成分のみが添加される必要がある。例え  
ば、 $WCl_6$  がクロルエタノールと反応する場合の  
如く、もしこの段階で塩化水素が生成するなら  
ば、それはタングステン化合物の溶液中に残留  
しうる。所望ならば、塩化水素対タングステ  
ンのモル比は、無水の塩化水素を添加すること  
によって大きくしてもよい。塩化水素対タングス

(7)

またはジエチルフォルマールである。

(例) 有機アルミニウム化合物、好ましくは次式  
のもの:



(上式中、

R<sub>1</sub>, R<sub>2</sub> および R<sub>3</sub> はアルキルを被わしてもよく、  
また

R<sub>2</sub> および R<sub>3</sub> はまたハロゲン (Cl, Br, F また  
は I) またはアルコキシ基を被わしてもよ  
く、

例えば  $Al(100-C_4H_9)_3$ ,  $Al(C_2H_5)_3$ ,  $Al(C_2H_5)_2Cl$ ,  
 $AlC_2H_5Cl_2$ ,  $Al(C_2H_5)_2Br$ ,  $Al(1-C_4H_9)_2Cl$ ,  
 $Al(C_2H_5)_2OC_2H_5$  およびアルミニウムセスキ  
ハライド、例えば  $Al_2(C_2H_5)_3Cl_3$  である。

上記の(a)ないし(c)の式において、アルキル基は  
好ましくは1ないし6個の炭素原子を有するも  
のであり、アルコキシ基は1ないし6個の炭素  
原子を有するものであり、アリール基はフェニ  
(8)

テンのより低いモル比が必要ならば、無水塩素  
を導入することによってタングステン化合物の  
溶液からある量の塩化水素を除去することがで  
き、除去された塩化水素の量は、定量分析によ  
って測定される。もし、 $WCl_6$  とエピクロルヒド  
リンとの反応の場合のように、タングステン塩  
(a)と共触媒(b)との反応において塩化水素が生成  
しなければ、所要量の塩化水素がタングステン  
成分の溶液に添加される。塩化水素は使用され  
た溶媒中の溶液の形態で別個に添加してもよく、  
またはガス状塩化水素の形態で直接に導入して  
もよい。本発明により必要とされる量の塩化水  
素は、好ましくは有機金属混合触媒のタングス  
テン成分の溶液中に存在する。

使用される溶媒は、脂肪族、環状脂肪族ま  
たは好ましくは芳香族の炭化水素、例えばヘキ  
サン、シクロヘキサン、ベンゼンおよびトルエ  
ンまたはそれらの混合物でよい。

本方法は一般に次のように実施される:  
タングステン化合物(a)および共触媒(b)、または

(8)

好ましくは(4)と(4)との反応生成物、および塩化水素を、前記の溶媒のうちの1種に溶解した単量体の少ない量の溶媒に加える。反応生成物の溶媒は、好ましくはすでに塩化水素を含有する。反応混合物が所要の温度に調整されたときに、有機アルミニウム化合物を添加する。重合は-60℃ないし+60℃、好ましくは-15℃ないし+15℃において行なわれる。重合時間は0.5ないし2時間である。重合が完了したときに、有機金属混合触媒は、例えば、メタノール、エタノールまたはイソプロパノールのようなアルコール、ステアリン酸のような有機酸またはN-メチルエタノールアミン、エチレンジアミンまたはN,N-ジメチル-エチレンジアミンのようなアミンの添加によつて不活性化される。重合体は、2,6-ジ-オ三ブチル-4-メチルフェノール、2,2'-ジヒドロキシ-3,3'-ジ-オ三ブチル-5,5'-ジメチル-ジフェニルメタンまたはフェニル-β-ナフチルアミンのような公知の酸化防止剤の添加によつ

(1)

オー弾性(バーダー(Beader)による、DIN 5355/4)の値が増加ししかもムーニー粘度(ML-1/100℃、DIN 53553)および固有粘度(η)の値が実際上不変であるということによつて明らかに示されている。このことはトランス-ポリアルケナマー、特にトランス-1,5-ポリペンテナマーの満足すべき加工にとつて重要である。本発明による物質はゴムミル上で非常に容易にシートを形成する。剪断勾配の高いことにより、充填剤および補助剤は、ゴムミル上またはパンブリーミキサー(密閉式混合機)内での加工中に迅速かつ均一に分布される。引張抵抗および張力値(モジュラス)のような、加硫物の性質もまた改善される。

前述の如く、本発明による重合体は主としてトランス配置を有する。これは二重結合の少くとも70%、好ましくは90-95%がトランス配置であることを意味するものと了解される。

本発明による重合体は合成ゴムを構成する。それから得られる加硫物の性質は、充填剤の多

(1)

て酸素の作用に対して安定化せらる。この方法(または逆方式でも)はパッチ方式でも実施することができる。 9字挿入

重合体は非溶媒を添加することにより前記の溶媒中の溶媒から沈殿せらる。重合体を単離させるための好ましい技術的手段は、停止されそして安定化された重合体溶液を熱水中に導入して、溶媒と水との共沸混合物を留去(ストリップング)することによる。重合体は塊りの形態で得られる。未だ水で覆っているゴムの塊りは、例えば乾燥室内で、帯状乾燥器上でまたはスクリー押出機内で乾燥される。

本発明によつて製造される重合体は、同一の条件の下に、但し塩化水素の不存在で、得られる重合体よりも著しく広い分子量分布を有する。その結果、なかなずく重合体のコールドフローが小さくなる。コールドフローが小さいことは、重合体の貯蔵および積重ねにとつて重要なことである。

本発明によつて製造された重合体の分子量分布の広いことは、またデフォー硬さおよびデフ

(1)

いそして油膜された混合物から製造された場合においても卓越している。

例 1

(a) タングステン成分の調製:

六塩化タングステン11.9gおよび無水トルエン200ccを攪拌機を備えた容器に投入される。無水トルエン93ccに溶解された2-クロロエタノール4.35gを、微しい攪拌下に酸素および大気中の水分を排除しつつ60分間に滴加せらる。溶液の色は暗青色から黒褐色に変化する。室温において更に1時間攪拌を続ける。得られた溶液は1g当り0.1モルのタングステンおよびタングステン1モル当り1.77モルの塩化水素を含有する(比較実験参照)。

(b) シクロペンテンの重合:

無水トルエン8500gおよびシクロペンテン1500gを純窒素の下に攪拌機を備えた乾燥容器に導入する。次に(a)に従つて調製されたタングステン化合物の溶液60ccを室

(1)

量において添加する。

この混合物を-15℃に冷却する。次いでトルエン中のジエチルアルミニウムクロライドの1モル溶液/7.5ccを攪拌しながら添加する。重合は直ちに開始する。これは溶液の粘度の著しい増加によつて認めることができる。反応温度は3時間の間に0℃に上昇するように外部冷却によつて調節される。次に、エチレンジアミン5g、2,2'-ジヒドロキシ-3,3'-ジ-オプロチル-5,5'-ジメチル-ジフェニルメタン5gおよびエタノール20gをトルエン200ccに溶解した溶液を添加することによつて重合は停止される。重合体は重合体溶液を熱水中に導入することによつて分離される。重合体溶液を熱水中に導入すると、トルエンと水の混合物が留去され、溶媒を含まない重合体が塊りの水性懸濁液として沈殿する。塊りは分別され、50℃において真空下に乾燥される。無水のトランス-1,4-ポリペンタナマー/240gが得られる。

(13)

ら除去された。この溶液100ccは、10ミリモルのタングステンを含むので、(b)に従つて調製された元のタングステン化合物溶液中の塩化水素対タングステンのモル比は、1.77:1であつた。

次に、塩化水素を除去したタングステン化合物溶液を用いて、重合実験(10)を前記と全く同様に繰返す。

無水の重合体/205gが得られる。

ムーニー粘度 ML-4/100℃	105
デフォー-H/E、80℃	775/12
(η)、トルエン、25℃、dl/g	2.56
トランス二重結合%	91.4

(10)および(11)に従つて得られた重合体は、それらのほとんど同じムーニー粘度および固有粘度(η)によつて示されるように実際上同様な平均分子量を有するが、それらのデフォー値において著しく相違している。(10)(本発明による)において調製された重合体のデフォー硬さ(H)および弾性(E)は、(11)(比較例)において得られ

(14)

特開 昭47-10494 (5)

ムーニー粘度 ML-4/100℃	101
(DIN 53523)	
デフォー-H/E (DIN 53514)	1225/26
(η)トルエン、25℃、dl/g	2.49
トランス二重結合%	91.7
(IR吸収により測定)(11)	

(11) G. Natta et al., Angew. Chem., 76, 765 (1964) 参照。

(c) 比較実験:

(a)において調製されたタングステン化合物の溶液100ccをガス入口管を備えた乾燥容器に導入する。次いで乾燥した純鹽素を溶液に3時間通す。鹽素は溶液を通過した後、10の水酸化ナトリウム溶液を合せて50cc含有する2個の洗気瓶を通過する。実験の停止後、水酸化ナトリウム溶液を指示薬としてメチルオレンジを使用して10HClに中和して滴定する。10HCl 32.3ccが消費される。すなわち、この実験で塩化水素17.7ミリモル(理論量の98.5%)がタングステン溶液か

(14)

たものの2倍高い。

(10)および(11)に従つて得られた重合体から、次の処方に従つてゴムミルでゴム混合物を調製し、次いでこの混合物を加硫した。

#### 混合処方

混合物の成分	重量部
トランス-1,4-ポリペンタナマー	100
IBAFカーボンブラック	75
高芳香族エクステンダー油 (Naphtholen MV) ⑩	45
ZnO (RB) ⑪	3
ステアリン酸	3
N-フェニル-N-イソプロピル ペラフェニレンジアミン	1
フェニル-α-ナフチルアミン	1
ベンゾチアゾリル-2-シクロヘキシル スルホンアミド	0.8
イボウ	2.0

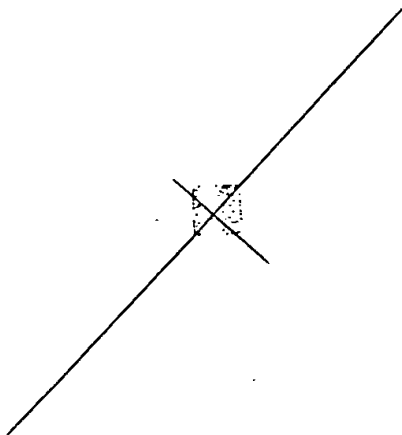
ゴムミル上の加工性は、1ないし6の等級(1=極めて良好、6=加工し得ず)に分類し

(14)

た。

(b)に従つて調製された重合体は、等級Ⅱに類別されたが、(c)による重合体はⅢに類別された。

これらの混合物は150℃において加硫された。次の表Ⅰは加硫物の性質を示す。



(19)

表 Ⅰ

トランス-1,3-ポリペンタナマーの加硫特性

生成物	加硫150℃ において(分)	引張強さ kg wt/cm <sup>2</sup>	破断時の 伸び(%)	モジュラス 300%, kg wt/cm <sup>2</sup>	ショアー A 硬 度 23°/75°	レジリアンス 23°/75°		引張強度 (Pohlé) kg wt/cm <sup>2</sup>	
例 1b	10	113	580	72	62	58	45	47	22
	20	184	430	103	65	62	47	55	18
	30	186	455	109	66	63	47	55	17
	45	174	470	103	65	62	47	54	17
	60	173	475	102	65	63	47	54	17
例 1c	10	110	735	69	57	52	44	37	20
	20	153	555	87	63	60	47	51	18
	30	155	530	90	63	60	45	51	17
	45	155	540	86	63	59	46	51	17
	60	149	530	85	63	59	45	50	16

例 2

(a) タングステン成分の調整

無水トルエン 135g および大塩化タングステン 22.2g を酸素および水を排除した攪拌容器に導入する。トルエン 80cc 中に溶解したホルムアルデヒド-ビス-( $\beta$ -クロルエチル)-アセチル  $\text{CH}_2(\text{OCH}_2\text{CH}_2\text{Cl})_2$  9.67g を塩浴において 15 分間攪拌しながら滴加する。攪拌を更に 90 分間継続する。得られた暗褐色の溶液は 1g 当り 0.0755 モルのタングステンを含有する。

(b) シクロペンテンの場合:

トルエン 1030 およびシクロペンテン 200g を酸素および水を排除した攪拌容器に導入する。2(a) において調製された溶液 10.1cc (= タングステン化合物の 0.76 ミリモル) を純酸素下に混合物に添加する。この混合物を攪拌しながら 15℃ に冷却し、次いでトルエン中ジエチルアルミニウムクロライドの 1 モル溶液 2.2cc を添加する。重合

(21)

解している塩化水素を除去する。塩化水素は 10 NaOH 50cc 中に吸収される。残りの 10 NaOH は、10 HCl で滴定することにより測定され、タングステン塩の溶液から、塩化量の 100% である 1.4 ミリモルの HCl が発生するように 34.0cc が消費された。

今度は塩化水素を含まないこのタングステン化合物溶液を用いて、重合実験 2(b) を繰返す。収量はこの場合には 144g であり、これは 72% の変換率に相当する。

(c) トルエン 25℃ 2.61

ML-4/100℃ 1.22

デフォード H/E 80℃ 1250/21

2(b) および 2(c) からのデータの比較は、塩化水素の存在下に製造された重合体が、ずつと広い分子重分布に起因する、改修されたデフォードデータを有することを示している。

例 2(b) に従って製造された重合体の加工性は、従って良好であるが、2(c) に従って製造された生成物は十分に加工することができな

(22)

特開 昭47-10494 (7)

は直ちに開始する。反応温度は 3 時間の間に 0℃ に徐々に上昇するように適当な外部冷却によって調節される。重合は次に、2,3'-ジヒドロキシ-3,3'-ジ-オニフタル-5,5'-ジメタル-ジフェニルメタン 1g、エタレンジアミン 1g、エタノール 5g およびトルエン 50g の混合物を添加することによって停止される。重合体は、重合体溶液をエタノール 30cc 中に導入することにより沈殿せしめられ、50℃ において真空下に乾燥される。変換率は 75%、すなわちトランス-1,5-ポリナマ-150g である。

(d) トルエン 25℃ 2.62

ML-4/100℃ 1.22

デフォード H/E 80℃ 1250/21

(e) 比較実験:

例 2(a) に従って調製されたタングステン化合物の溶液 100cc を攪拌を備えた乾燥器中に導入し、例 1(c) におけると同様にその中に乾燥した純酸素を過すことにより、重合

(23)

い。

例 3

例 4 の塩の塩化水素の存在下に、重合実験を例 2 に記載されているように行つた。実験条件および結果は、次の表 2 に要約されている。

(24)

表 2

実験番号	トルエン g	シクロペンテン g	重合温度 ℃	20℃におけるタン グステン化合物 ミリモル (phm)	HCl ミリモル (phm)	$Al(C_2H_5)_3Cl$ ミリモル (phm)	重合時間 h
A	1130	200	-15℃~0℃	0.38	0	1.1	3
B	1130	200	-15 ~ 0	0.38	0	1.1	3
C	1130	200	-15 ~ 0	0.38	0.76	1.1	3
D	1130	200	-15 ~ 0	0.38	0.76	1.1	3
E	1130	200	-15 ~ 0	0.38	0.91	1.1	3
F	1130	200	-15 ~ 0	0.38	0.91	1.1	3
G	1130	200	-15 ~ 0	0.38	1.14	1.1	3
H	1130	200	-15 ~ 0	0.38	1.14	1.1	3

表 2 (続き)

実験番号	変換率 %	ムーニー粘度 <sup>(1)</sup> ML-cp/100℃	デフォーメーション/弾性 <sup>(2)</sup> 80℃において	トルエン 25℃ d1/g	50℃における <sup>(3)</sup> コールドフロー mg/min	トランス二重結合 <sup>(4)</sup> %
A	74	121	850/14	273	5.6	90.3
B	72	111	800/13	265	6.7	91.0
C	75	108	1300/27	247	0.1	91.8
D	75	102	1225/28	240	0.5	90.9
E	74	110	1275/29	244	0	91.4
F	75	107	1300/29	239	—	91.7
G	75	110	1275/31	255	0	91.4
H	75	102	1250/29	241	0	91.4

(1) DIN 53523

(2) DIN 53514

(3) コールドフロー：修正されたアウトフロープラスチックメータで測定

(4) IR 分光器により測定：O. Natta et al. Angew Chem 76, 765(1964) 参照



前項に記載の方法。

(例) 塩化水素がタングステン化合物と炭酸炭との反応によつて生成される、特許請求の範囲オ2項および前記(1)ないし(3)のいずれかによる方法。

代理人 江 崎 光 好

これらの実験における主成分についての値は、本発明に従う重合方法(実験C, ないしE)により、広い分子重分布を有する重合体が得られる。この実験の生成物のコールドフローもまた測定された。本発明に従う重合体は、比較実験AおよびBよりも明らかに低いコールドフロー(実験C, ないしE)を有する。コールドフローが低いことは重合体の貯蔵および搬送に就て有利である。

本発明は特許請求の範囲に記載された方法をその発旨とするが、実施の態様として以下の事項をも含む。

- (1) 塩化水素対タングステンのモル比が1:1ないし2:1である、特許請求の範囲オ1項またはオ2項に記載の方法。
- (2) シクロオレフィンが、またはクノール5個の炭素原子を有するシクロオレフィンである、特許請求の範囲オ1項およびオ2項ならびに前項に記載の方法。
- (3) シクロオレフィンがシクロペンテンである

(2)

(2)

## 6 添附書類の目録

明 細 書	1 通
図 面	1 通
委 任 状	1 通
優先権証明書	1 通
願 書 副 本	1 通

## 7 前記以外の発明者

住所 ドイツ国、ケルン/80、ハーフェルカムプ、10

氏名 ヨーゼフ・ウィツテ

住所 ドイツ国、オーデンタール・グレープツシュ、アウフ・デム・クラウインケル、5

氏名 マンフレート・ベック

**MACHINE-ASSISTED TRANSLATION (MAT):****[Priority]**

Application country Germany country  
Filing date of application November 14, 1970 (P2056178.8)

**[Patent]**

(It is a patent application by the rule of the Section 38 of the Patent Law proviso)  
November 12, Showa 46

Director-General of the Patent Office Mr. Ido Takehisa

**[1. TITLE]**

The manufacturing method of the trans- 1,5- polypentenamer which has the improved processing characteristics

**[2. Number of Claims]**

2

**[3. inventor]**

Address (address) Germany country,

Name Dieter Mehrtens (et al.)

**[4. PATENTEE]**

Address (address) Germany country  
Name (name) Farben-fabriken, Bayer, Aktien Gesellschaft  
Representative Josef Stockhausen  
Nationality Germany country

**[5. representative]**

Address Tokyo  
(Telephone 03 (502)1476 (representation))  
Name Patent attorney (4013) Ezaki Mitsuyoshi

**[The inventory of 6. appending documents]**

Specification One copy  
Power of Attorney One copy  
Priority certificate One copy  
Copy of application One copy

[7. The inventor except above]

Address A Germany country,

Name Josef Witch

Address A Germany country,

Name Manfred Beck

**(21)[Application Number]**

Showa 46-90037

(11) Unexamined-Japanese-Patent No. 47-10494

**(43)[DATE OF FIRST PUBLICATION]**

Showa 47.(1972)5.26

**[EXAMINATION REQUEST]**

Not requested

(Total Pages 9)

**(19)[Publication Country]**

Japan Patent Office (JP)

(13) Laid-open (Kokai) patent application number

**[FI]**

642445

665345

665345

(52) A Japanese classification

26(3)B2

26(3)A13

26(3)272.115

**[Specification]**

**[1. TITLE]**

The manufacturing method of the trans- 1,5- polypentenamer which has the improved processing characteristics

**[2. claim]**

(1) Using the catalyst containing at least one sort of tungsten compounds, and at least one sort of organoaluminium compounds, the cycloolefin dissolved into the hydrocarbon solvent is polymerized.

In the manufacturing method of a transpolyalkenamer, it polymerizes by setting molar ratio of hydrogen chloride against tungsten to 0.1:1 or 10:1 in the presence of hydrogen chloride.

Said manufacturing method characterized by the above-mentioned.

(2) Furthermore, a cocatalyst is used.

The manufacturing method which claim Claim 1 described.

**[3. DETAILED DESCRIPTION OF INVENTION]**

Cycloolefin like a cyclobutene, a cyclopentene, or a cyclo octene, used a mixed organometallic catalyst of the compound of the metal of the VIB, VB, and VIB group of an element periodic table (See Handbook of chemistry and Physics)

47th version (1966) B-3 page) (Ti, Zr, Hf, V, Nb, Ta, Cr, Mo, W), and the organometallic compound of the metal (Li, K, Na, Rb, Be, Mg, Ca, Sr, Ba, Al, Ga, In) of Ia, IIa, and the IIIa group of a periodic table (See Handbook of Chemistry and Physics, 47th version (1966) B-3 page).

A linear unsaturated polymer can be generated by performing the polymerization accompanied by a ring-opening.

The double bond of this polymer is dependent on the catalyst which uses.

It was mainly a cis-double bond.

Or it is a trans- double bond.

The polymer obtained can cross-link a bridge by the ability using the system which contains well-known vulcanizing system, for example, peroxide system, or a sulfur, and can obtain the forming product of elasticity highly.

When a cyclopentene is polymerized using the catalyst based on a tungsten salt and an organoaluminium compound, the 1,5- polypentenamer obtained mainly has a trans-double bond (namely, 70 % or more).

Thus, the molecular weight of the obtained polymer is usually very large, a molecular weight distribution is narrow.

Molecular weight and a molecular weight distribution greatly influence the workability of a synthetic rubber.

Depending on a normal processing apparatus (a roller, internal mixer), it does not process normally easily the polymer which has high molecular weight and a narrow molecular weight distribution and which can be vulcanized.

In order to record and compare the processing characteristics of rubber, the combination of the flow of the product in various shearing stress or intrinsic viscosity ( $\eta$ ), a Mooney viscosity, the Defoe hardness, and the Defoe elasticity (DIM53514) is suitable.

The combination of these characteristics corresponding to the optimal workability of a non-vulcanization rubber is various.

It is specified about the elastomer of each amount.

Objective of the invention is by giving a large molecular weight distribution to manufacture the polyalkenamer which has the optimal workability.

This invention makes the organometallic mixed catalyst which comprises

(a) Tungsten compound

(b) Depending on the case, a cocatalyst

(c) Organoaluminium compound contact the solution of the cycloolefin in an inactive organic solvent in the presence of the hydrogen chloride of the amount which amounts to the molar ratio of 0.1:1.0 or 10:1.0 hydrogen chloride against tungsten.

The solution of the cycloolefin in an inactive organic solvent is contacted.

It relates to the manufacturing method of a polyalkenamer which mainly has a trans- arrangement.

The desirable molar ratio of hydrogen chloride against tungsten is 1:1 or 4:1. In particular the cycloolefin appropriate to objective of the invention is the cycloolefin which has the carbon atom of 4, 5, 7, or 18, for example, a cyclopentene, a cycloheptene, or a cyclo dodecene.

A cyclopentene is desirable.

The organometallic mixed catalyst which has the following composition is advantageous to in particular the ring opening polymerization of the cycloolefin (in particular cyclopentene) by this invention. :

(a) Tungsten salt, preferably, it is halogenated tungsten.

Or oxy halogenated tungsten, for example,  $WCl_4$ ,  $WCl_5$ ,  $WBr_5$ ,  $WCl_4O$ ,  $WV_6$  :

(b) cocatalyst, for example

(1) Epoxide of following General formula :



(In above Formula,  $x=H$ , an alkyl, an aryl, or aralkyl, and

$Y=H$ , an alkyl, an aryl, aralkyl, or  $CH_2-Hal$

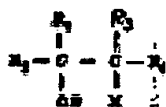
( $Hal=Y$ , Cl, Br or I), and

X and Y may be substituted by an alkyl ( $CH_5-$ ) and/or halogen (Cl), (2) Acetal of following Formula :



(In above Formula, r is a hydrogen atom, or in the case, the halogenated alkyl (F, Cl, Br, or I), aryl, or alkylaryl group is meant,

$R'$  means the alkylaryl group which may be substituted with halogen (F, Cl, Br, I), (3) Haloalcohol of following General formula :



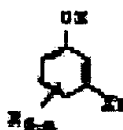
(In above Formula,  
X=F, Cl, Br or I,

R1 and R2 may be the same or different, hydrogen or an alkyl, an aryl, or an aralkyl group is expressed, R2 and R4 may be the same or different, a fluorine, chlorine, a bromine, an iodine, hydrogen, an alkyl, an aryl, or the aralkyl is expressed, and

R1 and R3 can form a carbocyclic five or more -membered ring together with the carbon atom which they connect ),

Or

(4) Halophenol of following General formula :



(In above Formula, x= fluorine, chlorine, a bromine, or an iodine, r= hydrogen, an alkyl, an aryl, an alkylaryl, the condensation cycloaliphatic, or an aromatic ring, and n= 1, 2, 3, 4 or 5), the example of these cocatalysts here,

They are ethylene oxide, a propylene oxide, an epichlorhydrine, 2-chloro ethanol, 2-bromo ethanol, 2-fluoro ethanol, 2-iodo ethanol, 2-chloro cyclohexanol, 2-chloro cyclopentanol, o-, m- and p- chloro phenol, di-2-chloroethylformal, or diethylformal. :

(c) Organoaluminium compound, preferably following Formula. :



(上式中、

(In above formula,

( in above Formula.

R1, R2 and R3 may express an alkyl, again

R2 and R3 may express halogen (Cl, Br, F, or I) or an alkoxy group again, for example, Al (iBo-C4Hg)<sub>3</sub>, Al (C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>3</sub>, Al(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>Cl, Al C<sub>2</sub>H<sub>5</sub> Cl<sub>2</sub>, Al(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>Br, Al(1-C<sub>4</sub>H<sub>9</sub>)<sub>2</sub>Cl, Al(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub>OC<sub>2</sub>H<sub>5</sub>

And an aluminium sesqui halide, for example, Al<sub>2</sub>(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>3</sub>Cl<sub>3</sub>.

In the formula of said (a) thru (c), preferably an alkyl group has 1-6 carbon atoms.

An alkoxy group has 1-6 carbon atoms.

Aryl groups are a phenyl, a tolyl, and a naphthyl group.

An aralkyl group is a benzyl group.

Halogen is Cl or Br.

Preferably it uses a catalyst component by the molar ratio of a=b=c of 1:(0.3-10):(0.5-15).

According to preferred Embodiment of this method, tungsten salt (a) is, first, it is made to react with cocatalyst (b) in the 0.05 - 0.5-mol solution in a hydrocarbon solvent (the same solvent as the solvent with which polymerization is preferably performed).

It uses the dissolved reaction product as a catalyst component.

The high concentration solution of a tungsten compound can manufacture by this method all the time, only two sorts of catalyst components merely need to be added.

When WCl<sub>6</sub> reacts with chloro ethanol, if hydrogen chloride generates in this phase, it can remain in the solution of a tungsten compound.

As long as it is desired, it may enlarge molar ratio of hydrogen chloride against tungsten by adding anhydrous hydrogen chloride.

If the lower molar ratio of hydrogen chloride against tungsten is necessary, the hydrogen chloride of a certain amount can be removed from the solution of a tungsten compound by introducing anhydrous nitrogen, the amount of the hydrogen chloride which it removed is measured by quantitative analysis.

When it is the reaction of WCl<sub>6</sub> and an epichlorhydrine, if hydrogen chloride does not generate in the reaction of tungsten salt (a) and cocatalyst (b), the hydrogen chloride of a required quantity is added by the solution of a tungsten component.

It may add hydrogen chloride separately with the form of the solution in the solvent which it used, or it may introduce directly with the form of gaseous hydrogen chloride.

Preferably the hydrogen chloride of the amount made necessary by this invention exists in the solution of the tungsten component of an organometallic mixed catalyst.

The solvent to be used is an aliphatic and a cycloaliphatic, or preferably it is good with the aromatic hydrocarbon, for example, the hexane, the cyclohexane, the benzene and the toluene, or those mixtures.

Generally this method is enforced as follows. :

It adds tungsten compound (a) and cocatalyst (b), or preferably the reaction product of (a) and (b), and hydrogen chloride to 5 to 50 weight% solution of the monomer dissolved in one sort of said solvent.

Preferably the solution of a reaction product already contains hydrogen chloride.

An organoaluminium compound is added when a reaction mixture is adjusted

to required temperature.

Polymerization is -60 degrees-Celsius or +60 degrees-Celsius, preferably in -15 degrees-Celsius or +15 degrees-Celsius, it is carried out.

The polymerization time is 0.5 or 4 hours.

When polymerization is finalized, an organometallic mixed catalyst

Is inactivated by addition of For example, alcohol like methanol, ethanol, or an isopropanol, an organic acid like a stearic acid

, or an amine like N-methyl ethanolamine, ethylenediamine, or N,N-dimethyl-ethylenediamine.

A polymer is stabilized by addition of well-known antioxidant like a 2,6-di-tertiary-butyl -4- methyl phenol, 2,2'-dihydroxy- 3,3'-di- tertiary-butyl-5,5'-dimethyl-diphenylmethane, or phenyl-(beta)- naphthylamine to an effect of oxygen, and it deals in it by it.

A patch system or a continuous method can also enforce this method.

By adding a non-solvent, a polymer is settled from the solution in said solvent, and it deals in it.

It is stopped and desirable technical means for isolating a polymer introduces a stabilized polymer solution into a hot water, it consists of distilling the azeotrope of a solvent and water (stripping).

A polymer is obtained with the form of a lump.

The lump of the rubber still covered with water is dried on a strip-shaped drier or in a screw extruder in dry chamber interior.

The polymer manufactured by this invention has a broader molecular weight distribution remarkably than the polymer obtained under the same conditions, though in the absence of hydrogen chloride.

Consequently, the cold flow of a polymer becomes smaller above all.

It is important for storage of a polymer, and a pile that a cold flow is small.

The molecular weight distribution of the polymer manufactured by this invention is large.

Moreover, the value of the Defoe hardness and the Defoe elasticity (DIN53514 by Baader (Baader)) increases.

And the value of a Mooney viscosity (ML-4/100 degrees-Celsius, DIM53523) and intrinsic viscosity ( $\eta$ ) was not changed in practice.

This shows clearly.

This is important for the process which should satisfy a trans- polyalkenamer, especially a trans- 1,5- polypentenamer.

The material by this invention forms a sheet very easily on a rubber mill.

According to the high thing of the shearing gradient, a filler and an adjuvant are distributed quickly and uniformly during a process on a rubber mill or within a Banbury mixer (internal mixer).

Character of a vulcanisate like a tear resistance and a tensile-strength value (modulus) is also improved.

As mentioned above, the polymer by this invention mainly has a trans configuration.

At least 70% of the double bond (preferably 80-98%) of this is a trans configuration.

It is understood as that which means this.

The polymer by this invention comprises a synthetic rubber.



And character of the vulcanisate obtained stands high also when it manufactures from the mixture to which had many fillers and oil immersion was carried out.

### [Example 1]

(a) Adjustment of a tungsten component :

The container equipped with the agitator inserts 11.9g of tungsten hexachlorides, and anhydrous toluene 200 ml.

While intensely stirring 2-chloro ethanol 4.35g dissolved in anhydrous toluene 93 ml by eliminating oxygen and the water component in atmospheric air, it drops in 60 minutes and gets.

The color of a solution is changed from fine blue to dark brown.

Stirring is continued in room temperature for further 1 hour.

The obtained solution contains

Tungsten which is 0.1 mol per 1 l.

And 1.77 mol of hydrogen chloride per 1 mol of tungsten.

(See comparison experiment e).

(b) Polymerization of a cyclopentene :

Anhydrous toluene 8500g and cyclopentene 1500g are introduced into the dry container which equipped with the agitator in the presence of pure nitrogen.

Next, 60 ml of solutions of the tungsten compound prepared according to (a) is added in room temperature.

This mixture is cooled to -15 degrees-Celsius.

Subsequently, it adds, stirring 17.5 ml of 1 molar solution of the diethyl aluminium chloride in toluene.

Polymerization is started immediately.

This can be accepted by the remarkable increase in the viscosity of a solution.

Reaction temperature is adjusted by external intercooling so that 3 hours may raise to 0 degrees-Celsius.

Next, the solution which dissolved ethylenediamine 5g, 2,2'- dihydroxy-3,3'-di- tertiary-butyl-5,5'- dimethyl-diphenylmethane 5g, and ethanol 20g in toluene 200 ml is added.

Polymerization is thus stopped.

It isolates a polymer by introducing a polymer solution into a hot water.

If a polymer solution is introduced into a hot water, it will distil toluene and the mixture of water, the polymer which does not contain a solvent precipitates as a water-based suspension of a lump.

Filtered separation of the lump is carried out, a under vacuum dries in 50 degrees-Celsius.

Anhydrous trans- 1,4- polypentenamer 1240g is obtained.

Mooney-viscosity ML-4'/100 degrees-Celsius 101

(DIN53523)

Defoe H/E (DIN53514) 1225/26

(eta) Toluene, 25 degrees-Celsius, al/9 24.9

Trans double-bond % 91.7

(It measured according to IR absorption) (\*)

(\*) See G.Natta et al.Angew.Chem.76,765 (1964).

(c) Comparison experiment :

100 ml of solutions of the tungsten compound adjusted in (a) is introduced into the dry container equipped with the gas inlet pipe.

Subsequently, it lets dry pure nitrogen pass for solution 2 hours.

Nitrogen passes two gas washing bottles which contain a 1n sodium hydroxide solution 50 ml in all, after passing a solution.

After the stop of experiment, by using a sodium hydroxide solution as an indicator, methyl orange is used and titration is carried out by 1nHCl.

1nHCl32.3 ml is consumed.

That is, it removed 17.7 millimoles (98.5% of a theoretical amount) of hydrogen chloride from the tungsten solution in this experiment.

100 ml of this bath liquid contains 10-millimole tungsten.

Therefore, the molar ratio of the hydrogen chloride against tungsten in the original tungsten compound solution prepared according to (a) was 1.77:1.

Next, polymerization Experiment 1 (b) is repeated completely like the above using the tungsten compound solution which removed hydrogen chloride.

1205g of anhydrous polymers is obtained.

Mooney-viscosity ML-4'/100 degrees-Celsius 105

Defoe H/E, 80 degrees-Celsius 775/12

((eta)), toluene, 25 degrees-Celsius, al/9 2.56

Trans double-bond % 91.4

The polymer obtained according to (b) and (C) has a mean molecular weight similar in practice so that those almost same Mooney viscosities and intrinsic viscosity (eta) may show.

However, in those Defoe values, it is remarkably different.

Defoe hardness (H) and elasticity (E) of a polymer which were prepared in (b) (based on this invention) is twice higher the thing obtained in (c) (Comparative Example).

From the polymer obtained according to (b) and (c), a rubber mixture is adjusted by the rubber mill according to the following prescription, subsequently, this mixture was vulcanized.

Mixed prescription

Component of a mixture	Weight part
------------------------	-------------

Trans- 1.5-polypentenamer	100
---------------------------	-----

ISAF carbon black	75
-------------------	----

High aromatic extender oil	45
----------------------------	----

(NaphtholenMV)R	
-----------------	--

Zno(RS)R	3
----------	---

Stearic acid	3
--------------	---

N-phenyl-N-isopropyl	1
----------------------	---

Para phenylene diamine	1
------------------------	---

Phenyl-(alpha)- naphthylamine	1
-------------------------------	---

Benzothiazolyl -2- cyclohexyl	0.8
-------------------------------	-----

Sulfonamide

Sulfur 2.0

The workability on a rubber mill was categorized into the rating (1= very favorable one, 6 = it cannot process) of 1 through 6.

The polymer adjusted according to (b) was classified by the rating 2.

However, the polymer by (c) was classified by 4.

In 150 degrees-Celsius, it vulcanized these mixtures.

Next Table 1 shows character of a vulcanisate.

[Table 1]

表 1  
トランス-1,5-ポリペンタエン-2-ジメチルアセタール重合体

試料	加硫温度 (℃)	加硫時間 (分)	引張強度 (kg/cm <sup>2</sup> )	伸び (%)	モジュラス (200%時, kg/cm <sup>2</sup> )	ショアA 硬さ	弾性率 (kg/cm <sup>2</sup> )	引張強度 (200%時) (kg/cm <sup>2</sup> )
例 b	10	110	100	9.5	4.5	35	6.5	1.5
	20	110	620	10.5	4.5	42	6.5	1.8
	30	110	630	10.5	4.5	42	6.5	1.7
	40	110	670	10.5	4.5	42	6.5	1.7
	50	110	470	10.5	4.5	42	6.5	1.7
例 c	10	110	700	8.5	4.5	42	6.5	1.8
	20	110	1100	8.5	4.5	42	6.5	1.8
	30	110	1100	8.5	4.5	42	6.5	1.7
	40	110	1100	8.5	4.5	42	6.5	1.7
	50	110	1100	8.5	4.5	42	6.5	1.8

Table 1: Vulcanizing characteristics of trans-1,5-polypentenamer

Row (left to right): Product, Vulcanizing at 150 degrees-Celsius (minute), Tensile strength, Extension at the time of tear, Modulus, Shore A hardness, Resilience, Tearing strength

Column (top to bottom): Example b, Example c

### [Example 2]

(a) Adjustment of a tungsten component :

Anhydrous toluene 135 ml and 22.21g of tungsten hexachlorides are introduced into the stirring container which eliminated oxygen and water.

It drops stirring formaldehyde-bis- ((beta)- chloro ethyl)-acetal  $\text{CH}_3(\text{OCH}_2\text{CH}_2\text{Cl})$  3 9.67g dissolved in toluene 80 ml in room temperature for 15 minutes.

Stirring is continued for 90 more minutes.

The solution of the obtained dark brown contains the tungsten of 0.0755 mols per liter.

(b) In the case of a cyclopentene :

Toluene 1030 and cyclopentene 200g is introduced into the stirring container which eliminated oxygen and water.

10.1 ml (= tungsten compound 0.76 millimole) of solutions adjusted in 2(a) is added into a mixture under pure nitrogen.

It cools to -15 degrees-Celsius, stirring this mixture, subsequently, 2.2 ml of 1 molar solution of the diethyl aluminium chloride in toluene is added.

Polymerization is started immediately.

Reaction temperature is adjusted by suitable external intercooling so that 3 hours may raise gradually to 0 degrees-Celsius.

Next, polymerization is stopped by adding a mixture (2,2'- dihydroxy- 3,3'-di-tertiary-butyl-5,5'- dimethyl-diphenylmethane 1g, ethylenediamine 1g, ethanol 5g, and toluene 50g).

A polymer is settled by introducing the polymerization solution into ethanol 3l, a under vacuum dries in 50 degrees-Celsius.

A transformation rate is 75-%, i.e., trans- 1,5- polytenamer, 150g.

((eta)), toluene 25 degrees-Celsius 2.62

ML-4'/100 degrees-Celsius 122

Defoe H/E80 degrees-Celsius 1250/21

(c) Comparison experiment :

100 ml of solutions of the tungsten compound adjusted according to example 2(a) is introduced into the dry container equipped with the stirring pillar, it lets the pure nitrogen similarly dried in it in example 1(c) pass.

The hydrogen chloride which is dissolving is removed.

Hydrogen chloride is absorbed in 1N NaOH 50 ml.

Remaining 1N NaOH is measured by titrating by 1N HCl, 34.0 ml was consumed so that 16-millimole HCl which is 100% of a theoretical amount might produce from the solution of a tungsten salt.

Polymerization Experiment 2 (b) is repeated from now on using this tungsten compound solution that does not contain hydrogen chloride.

A yield is 144g in this case.

This is equivalent to 72% of transformation rate.

((eta) Toluene, 25 degrees-Celsius 2.61

ML-4'/100 degrees-Celsius 111

Defoe H/E, 80 degrees-Celsius 800/13

According to comparison of the data from 2(b) and 2(c), the polymer manufactured in the presence of hydrogen chloride has the data of improved Defoe resulting from a much large molecular weight distribution.

The workability of the polymer manufactured according to example 2(b) follows and is favorable.

However, the product manufactured according to 2(a) cannot be processed satisfactorily.

### [Example 3]

In the presence of the hydrogen chloride of various amount, polymerization experiment was conducted as Example 2 described.

Experiment conditions and a result are summarized by following Table 2.

### [Table 2]

表 2

実験番号	トルエン g	シクロペンテン g	重合温度 ℃	例2(c)によるチン ジウム化合物 mmol (gmm)	HCl mmol (gmm)	$Al(C_2H_5)_2Cl$ mmol (gmm)	重合時間 h
A	11.0	3.0	-15℃〜0℃	0.38	0	1.1	3
B	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	0	1.1	3
C	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	0.76	1.1	3
D	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	0.76	1.1	3
E	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	0.91	1.1	3
F	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	0.91	1.1	3
G	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	1.14	1.1	3
H	11.0	3.0	-15℃〜0	0.38	1.14	1.1	3

Table 2

Row (left to right): Experiment number, Toluene, Cyclopentene, Polymerization temperature, Tungsten compound of Example 2(c) millimole, HCl millimole,  $Al(C_2H_5)_2Cl$  millimole, Polymerization time

表 2 (続き)

実験番号	重合率 %	ムーニー粘度 <sup>(1)</sup> ML-1/100℃	デフォー硬度/弾性率 <sup>(2)</sup> 80℃/mm	トルエン 50℃/1/2	50℃/1/2での コーラフロー 値/ml	トランス二重結合 <sup>(4)</sup> %
A	76	1.31	810/10	374	1.6	90.8
B	73	1.11	800/10	363	1.9	91.0
C	73	1.06	1200/29	349	0.1	91.0
D	73	1.03	1231/26	350	0.3	90.9
E	76	1.10	1275/29	348	0	91.0
F	73	1.07	1200/29	339	—	91.9
G	73	1.10	1275/31	333	0	91.0
H	73	1.03	1250/29	361	0	91.0

Table 2 (continued)

Row (left to right): Experiment number, Transformation rate, Mooney viscosity (1), Defoe hardness/elasticity at 80 degrees-Celsius (2), Toluene, Cold flow at 50 degrees-Celsius (3), Trans-double bond (4),

(1) DIN 53523

(2) DIM 53514

(3) Cold flow;

It measured in the corrected outflow blast meter.

(4) It measured with IR spectrometer. :

See G. Natta et al *AngewChem* 76,765 (1964).

The polymer which has a large molecular weight distribution is obtained by

the polymerization method (experiment C and H) that the value about the crude rubber in these experiment follows this invention.

The cold flow of the product of this experiment was also measured.

The polymer according to this invention has a cold flow (experiment C and H) clearly lower than the comparison experiment A and B.

It is advantageous for storage of a polymer, and a pile that a cold flow is low.

This invention makes the essential point the method which the claim described.

However, the following matters are also included as an aspect of implementation.

(1) The molar ratio of hydrogen chloride against tungsten is 1:1 through 4:1, the method as described in claim Claim 1 or Claim 2.

(2) Cycloolefin is cycloolefin which has 5 or 7 through 18 carbon atoms, the method as described in claim Claim 1, Claim 2, and the preceding clause.

(3) The method as described in the preceding clause cycloolefin is a cyclopentene.

(4) Hydrogen chloride is generated by the reaction of a tungsten compound and a cocatalyst, the 2nd claim and the method of depending in any one of said (1) - (3).

#### **[REPRESENTATIVES]**

Ezaki Mitsuyoshi

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**